

清里町社会福祉協議会 「福祉のまちづくり映画上映会」

令和7年11月14日（金）・15日（土）、清里町生涯学習総合センター小ホールにて「福祉のまちづくり映画上映会」を開催いたしました。

「どうすればよかったか？（監督：藤野知明）」を上映し、計160名の方が来場されました。

この映画上映会は、赤い羽根共同募金配分金、社会福祉協議会会費、清里町からの補助金等をもとに、ノーマライゼーション普及事業の一環として実施しております。今年度は「精神障がいを持つ家族のドキュメンタリー映画」でした。

タイトルが問いかけであることから、来場者からは「考えさせられた」「正解はないのではないか」「本当にどうすればよかったのか、ずっと考えている」など、非常にたくさんの「どうすればよかったか？の答え」が聞かれました。

～ノーマライゼーションとは～

障がいがある方もない方も、大人も子どもも、誰もが同じ社会や地域の一員として、平等に生活できる社会を目指していこう！という考え方です。

